

木と生きる幸福



2016年3月期 第1四半期決算

2015年7月31日 住友林業株式会社

目次

1. 2016/3期 第1四半期業績	2
業績のポイント		
セグメント別業績		
経常利益増減実績(前年同期比)		
住宅事業 売上高実績(単体)		
海外事業 事業別損益実績		
2. 2016/3期 業績予想	7
上期・通期予想のポイント		
セグメント別業績予想		
住宅事業 売上高予想(単体)		
海外事業 事業別損益予想		
3. 受注実績及び予想	11
4. 貸借対照表	12

2016/3期第1四半期実績 業績のポイント

- 戸建注文住宅事業において、期初受注残が低水準であったため完工引渡棟数が減少し、住宅事業の業績は前年同期を下回った。
- 一方、住宅・不動産事業を中心に海外事業の業績が好調に推移した。
- 全体としては、売上高は前期並み、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は前年同期比で赤字幅が増加。

(単位:億円)	15/3期 1Q		16/3期 1Q		前期差	前期比
	利益率	金額	利益率	金額		
売上高		1,925		1,958	+33	+1.7%
売上総利益	14.2%	274	14.6%	286	+12	+4.4%
販管費		316		348	+32	+10.2%
営業利益	△2.2%	△42	△3.2%	△63	△20	—
経常利益	△2.1%	△40	△3.0%	△58	△19	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1.6%	△30	△2.7%	△53	△23	—

2016/3期第1四半期実績 セグメント別業績

- 木材建材事業⇒1Qは、木材建材市場が停滞し、減収減益。
- 住宅事業 ⇒戸建注文住宅における完工引渡棟数減少や、リフォーム事業の減益影響などにより、全体としても前期実績を下回った。
- 海外事業 ⇒海外の住宅・不動産事業において、米国・豪州の住宅市況が堅調に推移し、販売も好調。大幅な増収増益となった。

売上高

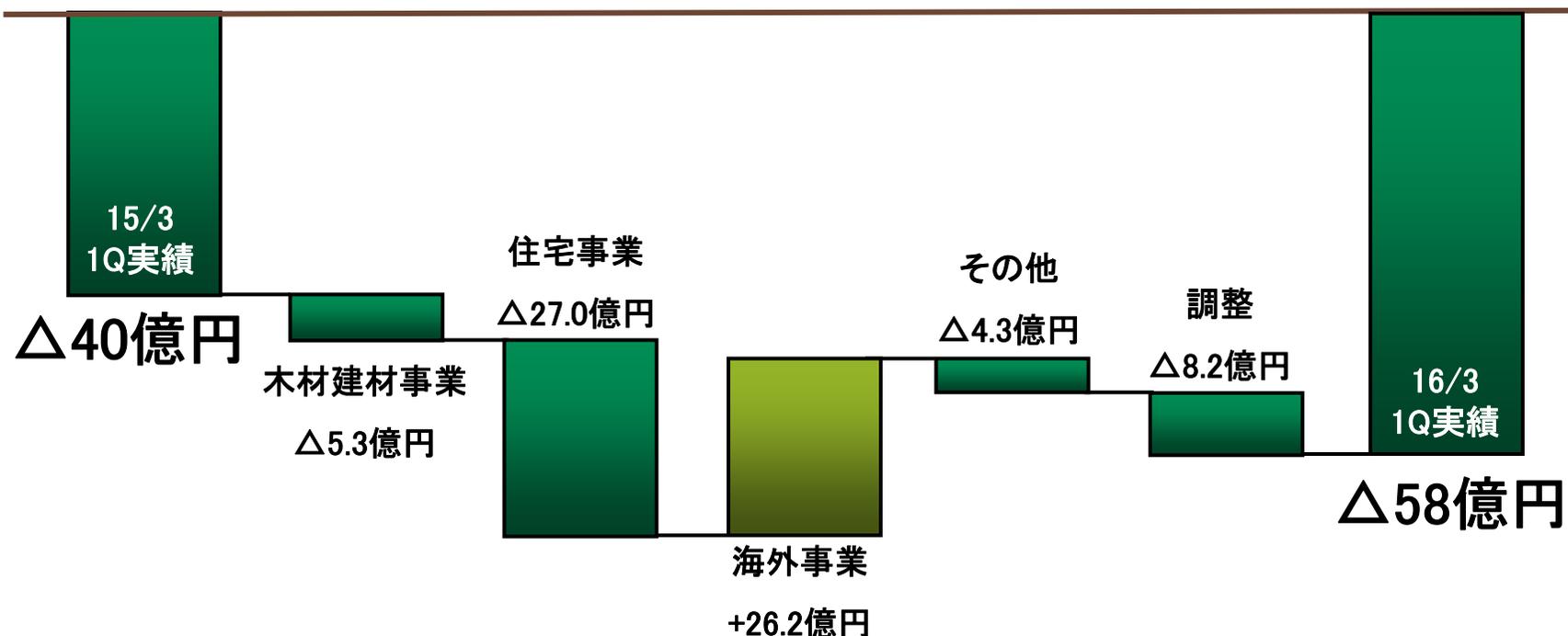
(単位:億円)	15/3期 1Q	16/3期 1Q	前期差	前期比
木材建材事業	1,067	1,013	△54	△5.0%
住宅事業	704	604	△100	△14.3%
内 リフォーム	110	114	+5	+4.1%
海外事業	220	408	+188	+85.5%
その他事業	39	40	+2	+4.2%
調整	△105	△108	△3	—
合計	1,925	1,958	+33	+1.7%

経常利益

木材建材事業	0.9%	10	0.5%	5	△5	△52.4%
住宅事業	△6.7%	△47	△12.3%	△74	△27	—
内 リフォーム	△3.4%	△4	△5.8%	△7	△3	—
海外事業	△2.9%	△6	4.8%	20	+26	—
その他事業	6.6%	3	△4.4%	△2	△4	—
調整		1		△7	△8	—
合計	△2.1%	△40	△3.0%	△58	△19	—

2016/3期第1四半期実績 経常利益増減実績(前年同期比)

4



《前年同期比》

木材建材事業 前年同期に比べて荷動きが鈍く、経常利益が約5億円減少。

住宅事業 戸建注文住宅の完工引渡棟数減少などにより、経常利益が約27億円減少。

海外事業 海外住宅事業において、米国・豪州での販売が好調だったことから、経常利益が約26億円増加。

2016/3期第1四半期実績 住宅事業 売上高実績(単体)

- ・戸建注文住宅⇒完工引渡棟数は減少する一方、単価が上昇したため、減収幅を抑えた。
- ・賃貸住宅 ⇒前期好調であった受注物件の完工は、2Q以降となるため、1Qの完工高は前期に比べ減少。

(単位:億円)		15/3期 1Q	16/3期 1Q	前期差	前期比
請負事業	戸建注文 (金額)	459	345	△114	△24.8%
	(棟数)	1,307	855	△452	△34.6%
	百万円 (単価)	35.1	40.4	+5.2	+14.9%
	賃貸住宅 (金額)	13	9	△4	△31.2%
	(戸数)	76	55	△21	△27.6%
	その他請負 (金額)	3	4	+1	+43.6%
戸建分譲住宅 (金額)	8	18	+10	+132.6%	
(棟数)	21	48	+27	+128.6%	
百万円 (単価)	37.6	38.2	+0.7	+1.8%	
注文住宅用土地 (金額)	8	4	△4	△45.1%	
リノベーション (金額)	8	8	+1	+6.7%	
その他 (金額)	16	13	△3	△16.4%	
合計 (金額)	515	403	△112	△21.7%	

2016/3期第1四半期実績 海外事業 事業別損益実績

6

- ・製造事業 ⇒豪州の木質ボード製造子会社の業績が回復したことなどにより、売上高・経常利益ともに前年同期を上回った。
- ・住宅・不動産事業⇒米国・豪州における住宅販売が好調であることや、連結子会社である Gehan Homesグループは15/3期1Qの実績には入っていないことが業績アップの主な要因となり、売上高・経常利益ともに前年同期を上回った。

(単位:億円)	売上高				経常利益			
	15/3期 1Q	16/3期 1Q	前期差	前期比	15/3期 1Q	16/3期 1Q	前期差	前期比
製造	113	126	+12	+10.9%	△0	2	+2	—
住宅・不動産	109	284	+174	+159.4%	6	29	+23	+377.3%
その他及び 連結調整等	△3	△1	+1	—	△12	△12	+0	—
合計	220	408	+188	+85.5%	△6	20	+26	—

2016/3期業績予想 上期・通期予想のポイント

- 上期業績について、住宅事業および海外事業の利益水準が、期初予想を上回る見込みにつき上方修正。
- 住宅事業は、コストが想定を下回って推移していること、海外事業は、住宅・不動産事業が好調であることが主な理由。
- 通期業績予想は、下期以降の国内外の市場環境・経済情勢が不透明であるため、変更せず。

<上期予想>

(単位:億円)

	15/3期 上期	16/3期 上期予想	前期差	前期比	16/3期	
					当初上期予想	差異
売上高	4,696	4,880	+184	+3.9%	4,880	—
売上総利益	778	815	+37	+4.7%	780	+4.5%
販管費	656	700	+44	+6.7%	710	△1.4%
営業利益	122	115	△7	△5.9%	70	+64.3%
経常利益	133	120	△13	△9.9%	75	+60.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	73	55	△18	△24.4%	30	+83.3%

<通期予想>

(単位:億円)

	15/3期 実績	16/3期 予想	前期差	前期比
売上高	9,973	10,620	+647	+6.5%
売上総利益	1,695	1,790	+95	+5.6%
販管費	1,355	1,440	+85	+6.3%
営業利益	340	350	+10	+3.0%
経常利益	364	365	+1	+0.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	186	195	+9	+5.0%

2016/3期通期予想 セグメント別業績予想

- 全てのセグメントにおいて期初予想からの変更なし。
- 木材建材事業は、市場環境改善の兆しもあり、2Q以降通期計画の達成に向け注力する。
- 住宅事業は、付加価値提供による単価アップや、コスト低減を引き続き推進する。
- 海外事業は、引き続き住宅・不動産事業が全体業績を牽引。

売上高

(単位:億円)	15/3期	16/3期	前期差	前期比
木材建材事業	4,230	4,450	+220	+5.2%
住宅事業	4,539	4,650	+111	+2.4%
内 リフォーム	596	711	+115	+19.2%
海外事業	1,470	1,820	+350	+23.8%
その他事業	166	170	+4	+2.6%
調整	△433	△470	△37	—
合計	9,973	10,620	+647	+6.5%

経常利益

木材建材事業	1.0%	40	1.1%	48	+8	+18.8%
住宅事業	6.2%	283	6.0%	280	△3	△1.1%
内 リフォーム	4.4%	27	6.6%	40	+13	+50.9%
海外事業	4.2%	61	4.6%	83	+22	+35.5%
その他事業	7.1%	12	0.6%	1	△11	△91.5%
調整		△32		△47	△15	—
合計	3.7%	364	3.4%	365	+1	+0.2%

2016/3期業績予想 住宅事業 売上高予想(単体)

- 戸建注文住宅事業は、1Qの実績が前年同期比で下回ったが、受注は前年を上回って推移しており、期初計画達成を目指す。
- 賃貸住宅事業は、2Q以降、完工予定物件があり、期初計画達成を見込む。

(単位:億円)		15/3期	16/3期	前期差	前期比
請負事業	戸建注文 (金額)	3,134	2,991	△143	△4.6%
	(棟数)	8,743	8,200	△543	△6.2%
	百万円 (単価)	35.8	36.5	+0.6	+1.8%
	賃貸住宅 (金額)	136	187	+51	+37.8%
	(戸数)	1,014	1,340	+326	+32.1%
	その他請負 (金額)	28	41	+13	+46.9%
戸建分譲住宅	(金額)	102	118	+16	+16.0%
	(棟数)	272	295	+23	+8.5%
	百万円 (単価)	37.4	40.0	+2.6	+6.9%
注文住宅用土地 (金額)	55	53	△2	△4.2%	
リノベーション事業 (金額)	57	59	+2	+3.8%	
その他 (金額)	80	89	+9	+10.9%	
合計 (金額)	3,592	3,538	△54	△1.5%	

2016/3期業績予想 海外事業 事業別損益予想

- 期初予想から変更なし。
- 住宅・不動産事業は、Henleyグループ(米国・豪州)、Gehanグループ(米国)、Bloomfield社(米国)それぞれ米国・豪州において販売が堅調に推移することが見込まれ、増収増益となり、通期計画の達成を見込む。

米国のモデルハウス



(単位:億円)	売上高				経常利益			
	15/3期	16/3期	前期差	前期比	15/3期	16/3期	前期差	前期比
製造	504	531	+27	+5.3%	7	16	+9	+134.6%
住宅・不動産	981	1,287	+305	+31.1%	96	108	+12	+12.4%
その他及び 連結調整等	△15	3	+18	-	△42	△41	+1	-
合計	1,470	1,820	+350	+23.8%	61	83	+22	+35.5%

2016/3期 受注実績及び予想

- 戸建注文住宅事業については、1Qの受注金額・棟数は、ともに前年同期を上回っている。
- 住宅性能の高い、当社オリジナルの「ビッグフレーム構法」の受注比率の上昇と「邸宅設計プロジェクト」の推進により、受注単価は約140万円上昇している。
- 受注強化に向け、WEB住まい博や各種キャンペーンの実施を予定。
- 賃貸住宅事業は、相続税改正や資産活用ニーズにより受注・完工引渡しともに堅調に推移。リフォーム事業は、期初計画が高めとなっており、計画達成に向け注力する。

		(単位:億円)							
受注		15/3期	16/3期	前期差	前期比	15/3期	16/3期	前期差	前期比
		1Q	1Q			実績	予想		
戸建注文	(金額)	648	740	+92	+14.2%	2,902	3,138	+236	+8.1%
	(棟数)	1,792	1,906	+114	+6.4%	7,804	8,600	+796	+10.2%
	百万円(単価)	32.4	33.8	+1.4	+4.3%	33.2	33.2	-	-
賃貸住宅	(金額)	37	56	+18	+49.5%	218	227	+9	+4.2%
	(戸数)	249	358	+109	+43.8%	1,486	1,550	+64	+4.3%
リフォーム	(金額)	125	144	+19	+15.2%	559	692	+133	+23.8%
その他請負	(金額)	0	0	△0	△2.2%	14	42	+28	+192.7%

邸宅設計プロジェクト-八事展示場(愛知県名古屋)



賃貸併用住宅「ForestMaison(フォレストメイソン)BF-耐火」



貸借対照表

(単位:億円)	15/3期末	16/3期 1Q	増減		15/3期末	16/3期 1Q	増減
現預金・有価証券	1,078	784	△294	仕入債務	1,676	1,378	△298
売上債権	1,242	1,208	△34	短期借入金・社債	313	283	△30
商品	266	260	△6	未成工事受入金	468	649	+181
未成工事支出金	229	416	+187	未払法人税等	46	14	△33
販売用不動産	392	412	+19	賞与引当金	100	53	△47
仕掛販売用不動産	371	399	+28	その他の流動負債	318	396	+78
短期貸付金	326	256	△70	流動負債	2,921	2,772	△149
未収入金	446	332	△114	長期借入金・社債	662	681	+19
その他流動資産	153	187	+34	退職給付に係る負債	131	127	△4
流動資産 計	4,502	4,252	△250	その他の固定負債	334	345	+11
建物・構築物	319	313	△6	固定負債	1,126	1,153	+26
土地	270	269	△1	株主資本	2,156	2,081	△74
投資有価証券	753	810	+57	その他の包括利益累計額	302	328	+26
その他固定資産	811	842	+31	非支配株主持分	150	152	+2
固定資産 計	2,153	2,234	+81	純資産	2,608	2,561	△46
資産	6,655	6,486	△169	負債・純資産 計	6,655	6,486	△169

- 海外住宅・不動産事業を中心に、資産規模が拡大しており、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が増加。
- 一方、前期末の完工引渡物件の工事代等の支払いにより、現預金と仕入債務が減少し、総資産も15/3期末から減少。

木と生きる幸福

住友林業グループ